

2013年11月22日

「復興応援 キリン絆プロジェクト」岩手県2JAに支援金を助成 ～“生産から食卓までの支援”をテーマに 農産物のブランド育成・6次産業化に向けた販路拡大を応援～

キリンビール株式会社（社長 磯崎功典）は、岩手県2JA（いわて花巻・おおふなど）に対し、農産物のブランド育成・6次産業化による販路拡大の支援金として、合計1億836万5,000円を公益社団法人日本フィランソロピー協会（理事長 高橋陽子）の協力のもと、11月22日に助成します。

キリングroupで展開している「復興応援 キリン絆プロジェクト」の一環として、被災地の農業復興に向け、農産物や加工品のブランドの育成、販路拡大、情報発信などに支援金を助成するものです。今回の助成は、JAいわて花巻では、「新規産直施設を軸に起こす復興ムーブメント」に、JAおおふなどでは、「新ブランド米『たかたのゆめ』」「菌床しいたけ」「地域特産果樹『気仙小枝柿』」のブランド育成と販路拡大・情報発信に活用されます。

キリングroupは、東日本大震災の復興支援活動として、2011年に「復興応援 キリン絆プロジェクト」を立ち上げました。3年間で約60億円を拠出し、「絆を育む」をテーマに「地域食文化・食産業の復興支援」「子どもの笑顔づくり支援」「心と体の元気サポート」の3つの幹でグループ各社が一体となって展開しています。

今回は、3つの幹の一つである「地域食文化・食産業の復興支援」として実施するものです。食に携わる企業として復興に貢献したいとの思いから、キリングroupの中でもキリンビール社が中心となり、“生産から食卓までの支援”をテーマとした農業や水産業に対する支援活動を3年間にわたり継続的に実施しています。

農業については、復興支援第1ステージとして、震災後から2012年まで、東日本大震災により被害を受けた岩手県、宮城県、福島県の農家に対して、JAグループと連携し、稼動していない中古農業機械のリユースを行うなど、営農再開を支援してきました。農業機械支援金額は、5億2,100万円となり、農業機械386台が購入されました。3県における支援状況は、岩手県に1億1,500万円（農業機械112台分）、宮城県に2億5,300万円（農業機械213台分）、福島県に1億5,300万円（農業機械61台分）となりました。

2013年からは、復興支援第2ステージとして、“生産から食卓までの支援”というテーマのもと、生産支援だけでなく、農産物のブランド育成支援、6次産業化に向けた販路拡大支援、将来にわたる担い手・リーダー育成支援などを展開し、今回の助成を含め、総額8億円の助成を行う予定です。

被災地の一日も早い復興を心より祈念するとともに、キリングroupとして、引き続き被災地の皆様の支援に尽力していきます。

キリングroupは「おいしさを笑顔に」をグループスローガンに掲げ、いつもお客様の近くで様々な「絆」を育み、「食と健康」のよろこびを提案していきます。

※添付資料：「岩手県2JA 復興プロジェクト内容」…1枚

（本件お問い合わせ先）
キリン株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報担当
東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス TEL 03-6837-7028
（お客様お問い合わせ先）
キリン株式会社 キリンビールお客様相談室（フリーダイヤル）0120-111-560
キリンホームページ <http://www.kirin.co.jp>



笑顔で結ぶ。人を、日本を。

<岩手県 2JA 復興プロジェクト内容>

JA名(申請者)	代表者	事業タイトル	贈呈金額 (円)
花巻農業協同組合	代表理事組合長 たかほし せんたろう 高橋 専太郎	「新規産直施設を軸に起こす復興ムーブメント」	33,000,000
大船渡市農業協同組合	代表理事組合長 すごう しんいち 菅生 新一	「新ブランド米『たかたのゆめ』(いわた13号)の地域ブランド確立事業」	16,634,000
大船渡市農業協同組合	代表理事組合長 すごう しんいち 菅生 新一	「菌床しいたけの生産復興と加工品開発」	28,800,000
大船渡市農業協同組合	代表理事組合長 すごう しんいち 菅生 新一	「地域特産果樹『気仙小枝柿』の安定生産と加工・販売の取組」	29,931,000
岩手県 2JA 合計			108,365,000